



芸文協だより

第31号

〒611-0023

宇治市折居台1丁目1番地

宇治市文化センター内

TEL/FAX 0774-22-6070

MAIL: ujigeibunkyou21@gmail.com

令和5年度 宇治市芸術文化協会定期総会を開催

令和5年5月13日（土）生涯学習センター

本年度の総会にご来賓に松永弘道様（京都府山城地域振興局連携企画課長）、岡部均様（宇治市文化スポーツ課課長）、橋本恭一様（宇治市文化会館館長指定管理者アクティオ株式会社）をお迎えいたしました。

議事ではすべての議案が承認されました。

また、宇治写真協会 西村謙様、AFUアートフォーラム宇治 藤井嘉男様、日本折紙協会 松井佳容子様、うじ剪画くらぶ「きらり」星山ふみ子様にご作品をお借りし、展示させて頂きました。



ご挨拶 令和5年度総会にあたって

会長 矢野 友次郎



今年も昨年に引き続き、総会が会員の皆さん、ご来賓の方々の前で開催出来ます事を嬉しく思い、心より感謝申し上げます。

さて、コロナ感染症が5類になり、4年前に戻りつつあると思います。しかし、本総会のご案内を差し上げましたところ、高齢により出向けないから、サークルのメンバーが減り維持できなくて退会したいとのご連絡があり、コロナ禍での文化活動の大変さを知らされました。一方では新しく入会を頂いた会員さんもあります。協会としまして、高齢化におけるポストコロナの芸術文化活動をこの一年「どの様に取り組むか」をしっかりと考え活動していかなければと総会に臨みました。

総会に於いてご提案を申し上げたとおり、私は、文化・芸術の活動は、あらゆる場面にあっても「夢を抱き・好奇心をもつ」ことだと思えます。先日「ポストコロナの芸術」という新聞記事で、文化関係の活動や施設の捉え方が変わった。「文化の関連する組織が、社会的にどのような機能を担い、期待されているのか浮き彫りになった」と報道されていました。

私たちの活動は「地域に密着した、そしていかに地域コミュニティに貢献するか」考えなければなりません。コロナ禍でも「健康で幸福に過ごすため文化芸術にアクセスし、楽しめる環境づくり」それは、「文化活動と健康」という視点、障害のある人や高齢者を含む多様な人へのアプローチをする。その事が「地域に市民文化がある事に、いかに幸せを感じるかが総合評価されていく」と考えられます。

協会としても大それたことは出来ないにしても、気軽に楽しめる活動を「夢を抱き・好奇心を持って」この一年邁進していきたいと思えます。



※②

令和5年度 宇治市民文化芸術祭

開催日 10月21日（土）22日（日）

宇治市文化センター大ホール・小ホール 中央公民館 展示集会室・会議室

会員の皆様のご参加をお願い致します

◆申込み期間は6月15日（木）～28日（水）

◆当協会事務所で、郵送・メール・持参にて受け付けます。